

## 2010年3月期 第2四半期決算短信

2009年11月6日

上場会社名 **サン電子株式会社**

上場取引所 JASDAQ

コード番号 6736

URL <http://www.sun-denshi.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 吉田 喜春

問合先責任者（役職名） 取締役経理担当（氏名） 加藤 俊朗

TEL (0587) 55 - 2201

四半期報告書提出予定日 2009年11月9日

（百万円未満切捨て）

### 1. 2010年3月期第2四半期の連結業績（2009年4月1日～2009年9月30日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2010年3月期第2四半期	6,530	△3.1	547	△2.2	573	△4.2	348	△14.8
2009年3月期第2四半期	6,740	—	559	—	598	—	408	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2010年3月期第2四半期	32	99	22	14
2009年3月期第2四半期	38	73	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
2010年3月期第2四半期	14,601	9,982	67.5	933	58
2009年3月期	14,528	9,585	65.4	900	62

（参考）自己資本 2010年3月期第2四半期 9,855百万円 2009年3月期 9,503百万円

### 2. 配当の状況

（基準日）	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
2009年3月期	—	—	—	15 00	15 00	
2010年3月期	—	—	—	—	—	
2010年3月期(予想)	—	—	—	15 00	15 00	

（注）配当予想の当四半期における修正の有無：無

### 3. 2010年3月期の連結業績予想（2009年4月1日～2010年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	15,000	( 9.4)	1,000	(△ 7.0)	1,000	(△ 7.6)	680	( 33.9)	64	43

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無：有

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 0社(社名 ) 除外 0社(社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
② ①以外の変更 : 無  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |               |             |               |             |
|----------------------|---------------|-------------|---------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 2010年3月期第2四半期 | 10,840,400株 | 2009年3月期      | 10,840,400株 |
| ② 期末自己株式数            | 2010年3月期第2四半期 | 284,160株    | 2009年3月期      | 288,100株    |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 2010年3月期第2四半期 | 10,554,302株 | 2009年3月期第2四半期 | 10,552,300株 |

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- (2) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の回復等により景気悪化に底打ちの兆しが見られるものの、失業率が過去最悪を更新するなど、雇用・所得環境は一段と厳しさを増しており、先行きは不透明な状況が続いております。このような状況のなか当社グループは、新規事業・新製品・新サービスの企画・研究・開発を推進するとともに、原価低減と経費削減を推進しました。

売上高につきましては、主要な事業でありますパチンコ関連事業におきまして、昨年の洞爺湖サミット開催に伴うパチンコホールの遊技機入替自粛の反動もあり、パチンコ制御基板及びパチンコホール内情報化システムの販売が、順調に推移しました。

また、情報・通信関連事業におきまして、Cellebrite社(連結子会社；イスラエル国)のモバイルデータ転送機器の販売が順調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高65億30百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益5億47百万円(同2.2%減)、経常利益5億73百万円(同4.2%減)、四半期純利益3億48百万円(同14.8%減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <パチンコ関連事業>

昨年7月の洞爺湖サミット開催に伴うパチンコホールの遊技機入替自粛の反動もあり、パチンコ制御基板及びパチンコホール内情報化システムの販売が、順調に推移しました。

この結果、売上高は35億43百万円(前年同期比12.3%減)、営業利益は5億2百万円(同31.6%減)となりました。

#### <情報・通信関連事業>

デジタル機器の販売は、個人消費の減速等により低調に推移しましたものの、Cellebrite社におけるモバイルデータ転送機器の販売が順調に推移しました。

この結果、売上高は22億50百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益は3億35百万円(同157.0%増)となりました。

#### <樹脂成形事業>

パチンコ遊技機の樹脂成形加工品の販売が順調に推移しました。

この結果、売上高は5億75百万円(前年同期比36.6%増)、営業利益は1億2百万円(同25.8%増)となりました。

#### <その他の事業>

主要な製品は、金型及び家庭用ゲーム機対応のパッケージゲームソフトであります。

売上高は1億61百万円(前年同期比197.2%増)、営業損失は7百万円(前年同期は15百万円の損失)となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ72百万円増加し146億1百万円となりました。これは主に、売上債権が1億47百万円、有価証券が1億11百万円、有形固定資産が1億22百万円それぞれ増加したことに対し、のれんが2億39百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億23百万円減少し46億18百万円となりました。これは主に、短期借入金1億20百万円、賞与引当金が1億13百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億96百万円増加し99億82百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億89百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は67.5%となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

2009年10月29日付「株式会社ニフコアドヴァンステクノロジーの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」にて公表のとおり、当社グループの主力事業でありますパチンコ関連事業の強化を図り、アミューズメント機器用グラフィックチップの開発・製造・販売を行っている株式会社ニフコアドヴァンステクノロジーの株式の70%を親会社である株式会社ニフコ(東証第1部 証券コード7988)より取得し、子会社化いたしました。

今後の業績見通しにつきましては、パチンコ業界の状況(遊技機1機種当たりの販売台数の減少、ホール内情報化システムの価格競争激化)、個人消費の減速によるデジタル機器販売の低迷、及び新規事業・新サービスの研究・開発の推進等を総合的に勘案しました結果、2010年3月期の連結業績予想は、売上高150億円(前年同期比9.4%増)、営業利益10億円(同7.0%減)、経常利益10億円(同7.6%減)、当期純利益6億80百万円(同33.9%増)となる見込みです。

パチンコ関連事業は、需要変動が比較的大きな分野に属しており、四半期毎の業績は大幅に変動する傾向があります。パチンコ制御基板の販売では、パチンコ遊技機の新機種発売は遊技機メーカーの他社動向、新機種の申請状況等に左右されます。また、パチンコホール内情報化システムの販売では、例年、需要期が第3四半期でありますことから、上期は販売費・開発費が先行いたします。さらに、新規事業・新製品・新サービスに対する研究開発投資も積極的に推進しておりますことから、四半期毎の業績は大きく変動する傾向を有しております。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

受注制作のソフトウェアに係る売上高及び売上原価の計上基準の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した受注制作のソフトウェアに係る契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるソフトウェア制作については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他のソフトウェア制作については工事完成基準を適用しております。

この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,537,163	3,664,086
受取手形及び売掛金	3,194,168	3,046,483
リース投資資産	165,643	203,457
有価証券	313,598	202,213
製品	427,015	535,793
仕掛品	189,925	76,600
原材料	402,622	383,367
繰延税金資産	162,921	221,838
その他	151,897	108,990
貸倒引当金	△19,804	△27,320
流動資産合計	8,525,152	8,415,511
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,295,554	1,295,554
その他(純額)	999,732	877,174
有形固定資産合計	2,295,286	2,172,728
無形固定資産		
のれん	1,477,991	1,717,628
その他	47,249	55,136
無形固定資産合計	1,525,240	1,772,765
投資その他の資産		
投資有価証券	1,565,445	1,477,083
その他	810,441	816,179
貸倒引当金	△120,465	△125,999
投資その他の資産合計	2,255,421	2,167,263
固定資産合計	6,075,948	6,112,757
資産合計	14,601,101	14,528,268

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,953,874	1,968,649
短期借入金	710,000	830,000
1年内返済予定の長期借入金	24,996	30,996
リース債務	80,781	76,710
未払法人税等	47,970	87,117
繰延税金負債	75,132	12,179
賞与引当金	283,590	396,625
役員賞与引当金	7,510	38,462
製品保証引当金	5,184	13,381
その他	790,422	815,520
流動負債合計	3,979,462	4,269,642
固定負債		
長期借入金	125,012	137,510
リース債務	95,506	126,747
繰延税金負債	244,405	245,863
再評価に係る繰延税金負債	13,097	13,097
退職給付引当金	116,952	106,269
役員退職慰労引当金	19,192	18,153
長期未払金	25,303	25,303
固定負債合計	639,470	672,944
負債合計	4,618,933	4,942,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	891,385	891,385
資本剰余金	904,869	904,907
利益剰余金	8,667,365	8,477,436
自己株式	△125,165	△126,904
株主資本合計	10,338,454	10,146,824
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△36,586	△147,110
土地再評価差額金	△437,380	△437,380
為替換算調整勘定	△9,439	△58,761
評価・換算差額等合計	△483,406	△643,252
新株予約権	127,118	82,109
少数株主持分	—	—
純資産合計	9,982,167	9,585,681
負債純資産合計	14,601,101	14,528,268

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	6,740,465	6,530,577
売上原価	3,648,486	3,402,538
売上総利益	3,091,979	3,128,038
販売費及び一般管理費	2,532,010	2,580,122
営業利益	559,968	547,916
営業外収益		
受取利息	17,185	6,519
受取配当金	16,176	24,257
為替差益	37,636	—
その他	12,351	4,502
営業外収益合計	83,351	35,278
営業外費用		
支払利息	11,484	5,111
貸倒損失	31,926	—
為替差損	—	2,754
その他	1,427	2,035
営業外費用合計	44,838	9,901
経常利益	598,481	573,293
特別利益		
投資有価証券売却益	55,662	—
関係会社株式売却益	—	19
貸倒引当金戻入額	4,565	12,962
特別利益合計	60,228	12,982
特別損失		
固定資産除却損	295	16,446
固定資産売却損	—	912
投資有価証券評価損	168,037	65,920
投資有価証券売却損	10,365	—
投資有価証券償還損	6,552	—
特別損失合計	185,250	83,278
税金等調整前四半期純利益	473,458	502,997
法人税、住民税及び事業税	52,977	77,428
法人税等調整額	11,826	77,355
法人税等合計	64,804	154,784
少数株主利益	—	—
四半期純利益	408,654	348,213

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	473,458	502,997
減価償却費	114,289	102,319
のれん償却額	239,637	239,637
株式報酬費用	—	45,009
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,949	△13,539
賞与引当金の増減額 (△は減少)	54,010	△119,931
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,569	△31,201
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△12,983	△8,928
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19,320	9,617
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,349	1,039
受取利息及び受取配当金	△33,362	△30,776
支払利息	11,484	5,111
為替差損益 (△は益)	8,823	5,960
貸倒損失	31,926	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△45,296	—
投資有価証券償還損益 (△は益)	6,552	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	168,037	65,920
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△19
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	912
有形固定資産除却損	295	16,446
売上債権の増減額 (△は増加)	△61,999	△94,343
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△76,888	△16,412
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33,433	△68,728
その他の資産の増減額 (△は増加)	1,446	△12,685
その他の負債の増減額 (△は減少)	89,990	△47,316
長期未払金の増減額 (△は減少)	△7,480	—
小計	927,960	551,089
利息及び配当金の受取額	33,362	30,776
利息の支払額	△11,484	△5,111
法人税等の支払額	△16,094	△141,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	933,744	435,474

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△134,526	△42,500
有形固定資産の取得による支出	△69,054	△216,088
無形固定資産の取得による支出	△3,581	△3,011
投資有価証券の取得による支出	△181,449	△3,826
投資有価証券の売却による収入	414,665	—
投資有価証券の償還による収入	142,204	15,807
関係会社株式の売却による収入	—	20
会員権の取得による支出	—	△719
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△31,926	—
長期貸付金の回収による収入	—	2,085
投資活動によるキャッシュ・フロー	136,332	△248,233
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△250,000	△120,000
長期借入金の返済による支出	△18,498	△18,498
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△251
自己株式の取得による支出	—	△23
ストックオプションの行使による収入	—	1,724
配当金の支払額	△158,284	△158,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△426,782	△295,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57,058	50,054
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	586,235	△58,038
現金及び現金同等物の期首残高	1,614,892	3,629,299
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,201,127	3,571,261

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2008年4月1日 至 2008年9月30日)						
	パチンコ	情報・通信	樹脂成形	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	4,041,925	2,223,097	421,147	54,295	6,740,465	—	6,740,465
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	7,020	7,020	(7,020)	—
計	4,041,925	2,223,097	421,147	61,315	6,747,485	(7,020)	6,740,465
営業利益又は営業損失(△)	733,718	130,709	81,436	△15,474	930,391	(370,422)	559,968

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)						
	パチンコ	情報・通信	樹脂成形	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	3,543,764	2,250,313	575,139	161,359	6,530,577	—	6,530,577
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	600	—	—	18,428	19,028	(19,028)	—
計	3,544,364	2,250,313	575,139	179,787	6,549,605	(19,028)	6,530,577
営業利益又は営業損失(△)	502,199	335,937	102,420	△7,165	933,391	(385,475)	547,916

## (注) 1 事業区分の方法

事業は、製品系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

## 2 各事業の主な製品・サービス

- (1) パチンコ関連事業…………… パチンコ制御基板、パチンコホール内情報化システム
- (2) 情報・通信関連事業…………… デジタルコンシューマー機器、コンテンツ配信、モバイルデータ転送機器
- (3) 樹脂成形事業…………… 樹脂成形品
- (4) その他の事業…………… 金型、家庭用パッケージゲームソフト

## 3 会計方針の変更

受注制作のソフトウェアに係る売上高及び売上原価の計上基準の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した受注制作のソフトウェアに係る契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるソフトウェア制作については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他のソフトウェア制作については工事完成基準を適用しております。なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業損益に与える影響はありません。

## 【所在地別セグメント情報】

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2008年4月1日至2008年9月30日)					
	日本	中東	北米	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,592,507	199,543	948,415	6,740,465	—	6,740,465
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	722,054	—	722,054	(722,054)	—
計	5,592,507	921,597	948,415	7,462,519	(722,054)	6,740,465
営業利益	421,746	301,605	77,793	801,145	(241,177)	559,968

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2009年4月1日至2009年9月30日)						
	日本	中東	北米	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	5,058,272	215,574	1,207,646	49,083	6,530,577	—	6,530,577
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	712	1,096,258	—	—	1,096,970	(1,096,970)	—
計	5,058,985	1,311,833	1,207,646	49,083	7,627,548	(1,096,970)	6,530,577
営業利益又は営業損失(△)	140,059	486,797	△67,387	△8,735	550,734	(2,817)	547,916

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 中東……イスラエル

(2) 北米……米国

(3) その他……ドイツ、中国

3 会計方針の変更

受注制作のソフトウェアに係る売上高及び売上原価の計上基準の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した受注制作のソフトウェアに係る契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるソフトウェア制作については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他のソフトウェア制作については工事完成基準を適用しております。なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業損益に与える影響はありません。

4 従来、のれん償却費を配賦不能営業費用として、消去又は全社の項目に含めておりましたが、前連結会計年度より新たな所在地への海外連結子会社新設によるセグメントの追加に伴い、営業費用の配賦方法を見直しております。この変更は、各所在地別の業績実態をよりの確に把握し、情報開示を行なうことを目的としたものであります。

5 変更後の営業費用の配賦方法等による前第2四半期連結累計期間の所在地別セグメント情報は次のとおりであります。

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2008年4月1日至2008年9月30日)					
	日本	中東	北米	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,592,507	199,543	948,415	6,740,465	—	6,740,465
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	722,054	—	722,054	(722,054)	—
計	5,592,507	921,597	948,415	7,462,519	(722,054)	6,740,465
営業利益	421,656	125,343	14,507	561,507	(1,539)	559,968

【海外売上高】

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2008年4月1日 至 2008年9月30日)		
	北米	その他	計
I 海外売上高	949,975	202,116	1,152,092
II 連結売上高	—	—	6,740,465
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.1	3.0	17.1

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)		
	北米	その他	計
I 海外売上高	1,235,981	267,669	1,503,651
II 連結売上高	—	—	6,530,577
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	18.9	4.1	23.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……米国

(2) その他……イスラエル等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)	
(株式取得による会社等の買収)	
1	その旨及び目的 当社は、2009年10月29日開催の当社取締役会において、株式会社ニフコが所有する株式会社ニフコアドヴァンステクノロジーの株式を取得することを決議し、同日付で株式会社ニフコと株式譲渡契約を締結いたしました。また、当該株式譲渡契約に基づき、2009年11月4日に当該会社の株式70%を取得いたしました。当該株式を取得し、同社を連結子会社化することで、当社グループのアミューズメント事業において、更に包括的なサービスを提供することを主たる目的としております。
2	株式取得の相手会社の名称 株式会社ニフコ
3	買収する会社の名称、事業内容、規模 ①名称 株式会社ニフコアドヴァンステクノロジー ②事業内容 電子・電気部品及び製品(娯楽用製品、電子回路基板等)の開発・製造・販売 ③規模 (2009年3月期) 売上高 2,446百万円 営業損失 △145百万円 経常損失 △139百万円 当期純損失 △85百万円 総資産 2,999百万円 純資産 996百万円
4	株式取得の時期 2009年11月4日
5	取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率 ①取得株式数 4,200株 ②取得価額 385百万円 ③取得後の持分比率 70.0%
6	購入資金の調達方法 全額自己資金